

# 【速硬・速乾型ポリマーセメントモルタル】 住宅基礎補修用モルタル

速硬性 ・ 速乾性 ・ 強接着

マノール住宅基礎補修用モルタルは、住宅の基礎コンクリートのピンホールや段差、欠損部補修用のカチオン性粉末樹脂一材型ポリマーセメントモルタルです。補修後、数時間で保護・美装仕上材を施工する事が可能な速硬性・速乾性のモルタルです。

## 特長

- 速硬性・速乾性の為、2～3時間で実用強度が得られ、1日で保護仕上まで施工可能です。  
※20℃の場合
- 塗厚0～10mmまでと幅広く施工可能です。
- カチオン性粉末樹脂配合の為、水で練るだけで強力な接着力を発揮します。

## 主な用途

- 住宅基礎コンクリートの欠損・段差・ピンホール補修
- 各種一般補修 ※床面は軽歩行程度

## 荷姿・標準調合

荷 姿 10kg袋

種 類 Aタイプ又はBタイプの2種類

標準調合

粉 体	水 量	練上り量	施工面積
10kg袋	2.3kg～2.6kg	約6.5ℓ	1mm厚で6.5m <sup>2</sup>

凝結時間

凝結時間の目安	気温30℃	気温20℃	気温10℃
Aタイプ	5～10分	10～15分	20～30分
Bタイプ	20～30分	40～50分	80～100分



## 施工上の注意事項

- 施工時の気温、水温、躯体や養生温度等により硬化時間が変わりますのでご注意ください。
- 5℃以下での施工は避けてください。また、練り上がり温度は5℃以上を確保してください。
- 混練りは標準調合に準じ、計量器を用いて正確に調合し、混練不足のないようにしてください。
- 混練したマノール住宅基礎補修用モルタルは、可使用時間内に使い切ってください。  
夏期高温中は硬化時間が短くなります。一度に使用可能な量で混練りをしてください。
- 製品の安全性については、SDSをご確認ください。

## 使用方法

1. 下地処理	下地のレイタンス、油分、汚れ、脆弱部はワイヤブラシ等で除去してください。
2. 吸水調整	塗り付け箇所には、吸水調整材としてアクリットの3倍希釈液を塗布してください。
3. 混練	標準調合に従ってハンドミキサー等で3分間混練してください。
4. 塗り付け	より下地に密着するように、コテ圧をかける要領で塗付けてください。
5. 養生	塗り付け後は適切な養生を行ってください。硬化を待って保護仕上材を施工してください。

※本製品は速硬・速乾タイプです。一度で使い切れる量で混練してください。

※薄塗りの場合は水量を上限に近づけた方が作業性が向上します。

※厚塗りの場合は水量を下限に近づけた方がダレ辛くなります。

※溶剤系の仕上材を塗布する場合は含水率にご注意ください。

## 性能一覧

試験材令	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	接着力 (N/mm <sup>2</sup> )
2時間	7.0	2.5	—
7日	18.0	4.0	1.8
28日	25.0	6.0	2.5

試験条件 Aタイプ 水/粉体比 24.5%

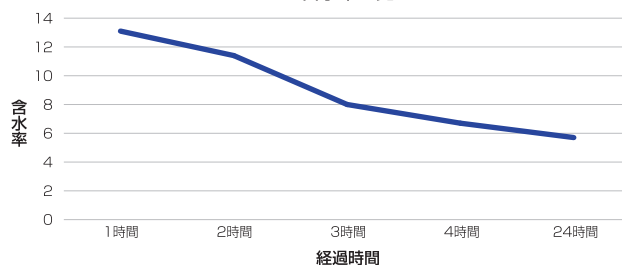
供試体 粉体温度・水温・気温・練上り温度=20℃±2℃

強度試験 JIS-R-5201 40mm×40mm×160mm 鋼製三連型枠

接着力試験 下地:JISコンクリート平板 水湿し 塗厚10mm

※試験結果は気温・養生方法・供試体の形状等により大きく異なる場合があります。

含水率一覧



●試験温度20℃。Aタイプを使用。経過時間は完全硬化からの時間です。

●モルタル厚さ40mm(但し40mm×40mm×160mmの供試体を使用)

●測定機器はKett社製 含水率測定器を使用

●含水率は気温や水温、湿度、気候により異なります。仕上材の施工前に、含水計で確認を行ってください。

## 注意事項

### 取扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱い時は、換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

### 応急処置

- 目に入った場合:直ちに多量の水で洗顔し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合:直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合:多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受けてください。

### 保管上の注意

- 粉体は吸湿性がありますので、湿気厳禁で保管してください。

### その他の注意事項

- 輸送時、落下、転倒、破損がないように荷崩れ防止を行ってください。
- 廃棄する場合は都道府県条例に基づいて処理してください。
- 粉体が混合した排水は、中和、希釈等を行ってください。
- ご使用前に安全データシート(SDS)をご確認ください。

セメント混和・助材総合メーカー  
 **株式会社 マノール**  
<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334  
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127  
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332  
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

## 特約店